

大阪府立高校における 外国につながるのある生徒支援の取組み

～ 就学機会の確保及び進路保障について ～



公式キャラクター「あおは」

大阪府立大阪わかば高等学校
校長 高階 章一

0. 自己紹介

2006年～ 府立野崎高校教諭（8年）

教科指導や生徒指導に明け暮れる日々を送る。様々なマイノリティ生徒（非行、不登校、LGBTQ、貧困、自死念慮生徒、など）に出会う。

2014年～ 府教育庁指導主事（11年）

外国人問題を含め大阪府における人権教育の歴史や課題を学ぶ。

2025年～ 大阪わかば高校校長（1年め）



先生方と力を合わせて、様々な背景を抱える生徒と向き合う日々を送る。



本日の内容

1. 大阪府における取組み
2. 大阪わかば高校のキャリア支援
3. 大阪府における現状と課題
4. 大阪わかば高校の今後の展望



- 
- 
1. 大阪府における取組み
 2. 大阪わかば高校のキャリア支援
 3. 大阪府における現状と課題
 4. 大阪わかば高校の今後の展望





1. 大阪府における取り組み

大切にしていること

- 互いに違いを認め合い、ともに生きる態度を身につける
- 自らのルーツのある国・地域に関わる歴史的・文化的な背景に誇りをもち、アイデンティティを確立
- 母語・母文化に対する学び
- 将来の進路を自ら選択し、自己を実現する

大阪府教育庁「在日外国人に関わる教育における指導の指針」(R6.2)より抜粋





1. 大阪府における取組み

日本語指導が必要な生徒に対する入学者選抜配慮事項の変遷

年度	配慮事項	対象者
1989	検査時間の延長	原則として小学校4年生以上に編入
1990	日中辞典の持込み可	
1991	日越辞典の持込み可	
1993	「ふりがな表」の配布	
1995	問題文へのルビ打ち	
1996	小論文における日本語以外の使用	
2000	辞書の持込み2冊まで可	原則として小学校2年生以上に編入
2000	作文・小論文におけるキーワードの外国語併記	
2006		原則として小学校1年生以上に編入
2016	自己申告書の代筆	



1. 大阪府における取組み

入学者選抜における枠校の変遷

年度	名称	設置校	対象者
		(括弧内は新設置校)	
2001	中国帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜	2校 (長吉、門真なみはや)	原則として小学校4年以上の学年に編入
2002		3校 (八尾北)	
2003		4校 (成美)	
2005		5校 (布施北)	概ね小学校3年以上で日本語に支障がある生徒も認める
2014	中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜		
2015		6校 (福井)	
2017	日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜	7校 (東淀川)	
2022		8校 (大阪わかば)	



1. 大阪府における取組み

2025年度 「枠」入試実施概要

入試時期	特別選抜の日程と同日
対象者	中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、 <u>小学校第4学年以上の学年に初めて編入学した者</u> その他特別の事情があり府教育委員会が本選抜に志願することが適当であると認めた者とする。 (府教育委員会に出願資格の申請が必要)
学力検査等	「数学」「英語」「作文」(調査書、自己申告書の提出は不要)
配慮事項	<ul style="list-style-type: none">・ 作文については、日本語以外の使用を認める。このとき使用する言語については、原則としてあらかじめ申請するものとする。(承認書に記載の言語)・ 各教科の学力検査において、漢字にひらがなのルビを付けた学力検査問題を配付する。・ 作文の題意の理解を支援するため、キーワードとなる語について、外国語を併記したものを配付する・ 受験者が希望する外国語の辞書の持込みを2冊まで可能とする。 ただし、和英、英和辞典及び英語が記載されている者は英語の学力検査では使用できない。・ 学力検査の時間は同一問題で実施する特別選抜における時間の約1.3倍とする。

1. 大阪府における取組み

中学段階における進路支援

(1) 多言語進路ガイダンスの実施

- 進路選択の一助となるよう、府内8地区で開催
- 対象は小・中学校等に在籍する帰国・渡日児童生徒及びその保護者等
- 内容としては、高校入試制度等の説明や先輩からの体験談、高校紹介など

(2) 多文化共生フォーラムの開催

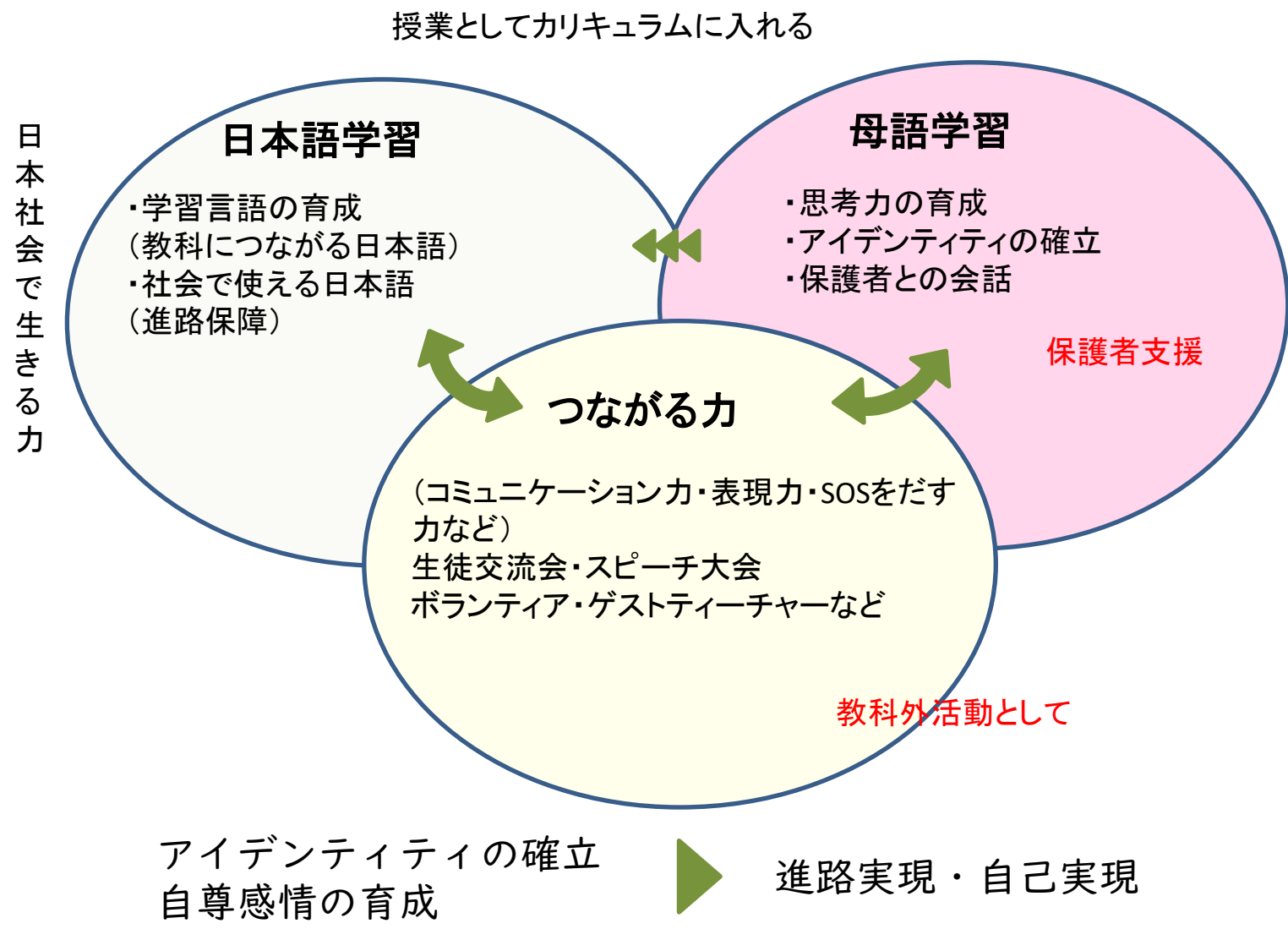
- 外国につながりのある中学生が、同じ言語を母語とする他校の中学生と出会ったり、府立高校の多文化共生の取組みを知ったりすることを通して、アイデンティティを育むことを目的に開催
- 参加者が、高校生の話や、高校生活に関する情報を聞くことにより、進路に展望を持つことにつながる。

大阪府内公立中学校及び義務教育学校の高校等進学率 (夜間学級を除く) 大阪府独自調査

卒業年度	R4	R5	R6
日本語指導が必要な生徒	93.8%	93.8%	96.4%
大阪府全体（公立）	98.3%	98.2%	98.1%



1. 大阪府における取組み 梓校の取組み



- ・多言語生徒支援の教職員組織がある(校内分掌)
- ・多言語生徒を対象とするカリキュラムがある
- ・日本語・母語や抽出授業、やさしい日本語を使った授業
日本語指導体制がある
- ・ネイティブ(継承語)教員が配置されている
- ・多言語生徒支援の活動拠点がある(校内居場所)
- ・多言語生徒所属のクラブ活動がある
- ・多言語生徒への進路指導システムがある
- ・多言語生徒の活動と地域との交流がある





1. 大阪府における取組み 主な支援内容

① プレ日本語学習会

ダイレクトの入学予定生徒に対して日本語
初期指導を実施

② 入学前オリエンテーション

入学予定者を対象にオリエンテーション、
書類作成の相談会を実施

③ 教育サポーター

学習や生活の指導補助や懇談等での通訳の
ため、生徒の母語を理解する人材を派遣

④ 日本語講習会

JLPTのレベル認定をめざして、遠隔で講習
会を開催



⑤ 進路支援説明会

帰国・渡日生徒のための進学・就職に関す
る情報を多言語で提供

⑥ サポート校による支援

少数散在校が日本語指導や校内体制等に
困った際にサポート校が支援する



- 
- 
1. 大阪府における取組み
 2. 大阪わかば高校のキャリア支援
 3. 大阪府における現状と課題
 4. 大阪わかば高校の今後の展望



2. 大阪わかば高校のキャリア支援 学校概要



令和2年度 多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部（普通科）として開校

令和4年度 大阪府で8校目の梓校となる

令和6年度 RIOより日本語指導が必要な生徒を支援するための
「拠点校」となることが府教育庁より公表された

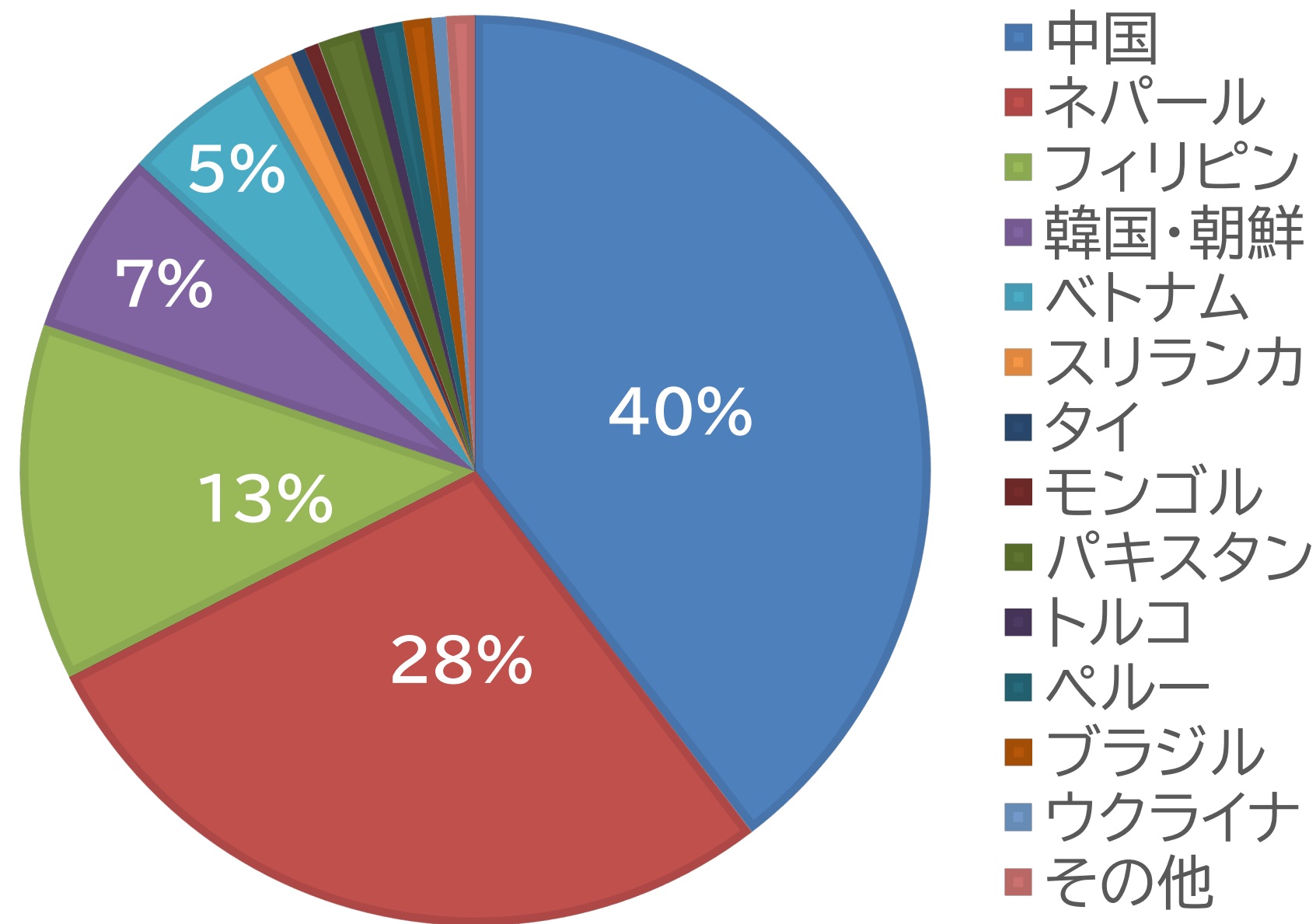
スクール・ミッション

定時制の課程・多部制単位制の高校として、生徒の多様性を尊重し、一人ひとりの成長に寄り添う指導を通じて、常に変化する社会の中で、様々なかたちで社会とかかわることができる人物を育てるとともに、日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜実施校として、多文化共生社会で活躍できる人物を育成する。



2. 大阪わかば高校のキャリア支援

ルーツ別多文化多言語生徒数



2025年10月1日現在

全校生徒	470名
ルーツ生徒	197名（割合41.9%）



2. 大阪わかば高校のキャリア支援

誰ひとり置き去りにしないキャリア支援

- 大阪府の人権教育…「進路保障」をめざす

- 就職における「近畿統一応募用紙」（履歴書）の使用

家族欄なし、国籍・本籍欄なし、性別欄なし

- 「高卒求人」… 高卒生を育てる企業

- キャリアコーディネータ、スクールソーシャルワーカー

支援が必要な生徒を就労へつなげる

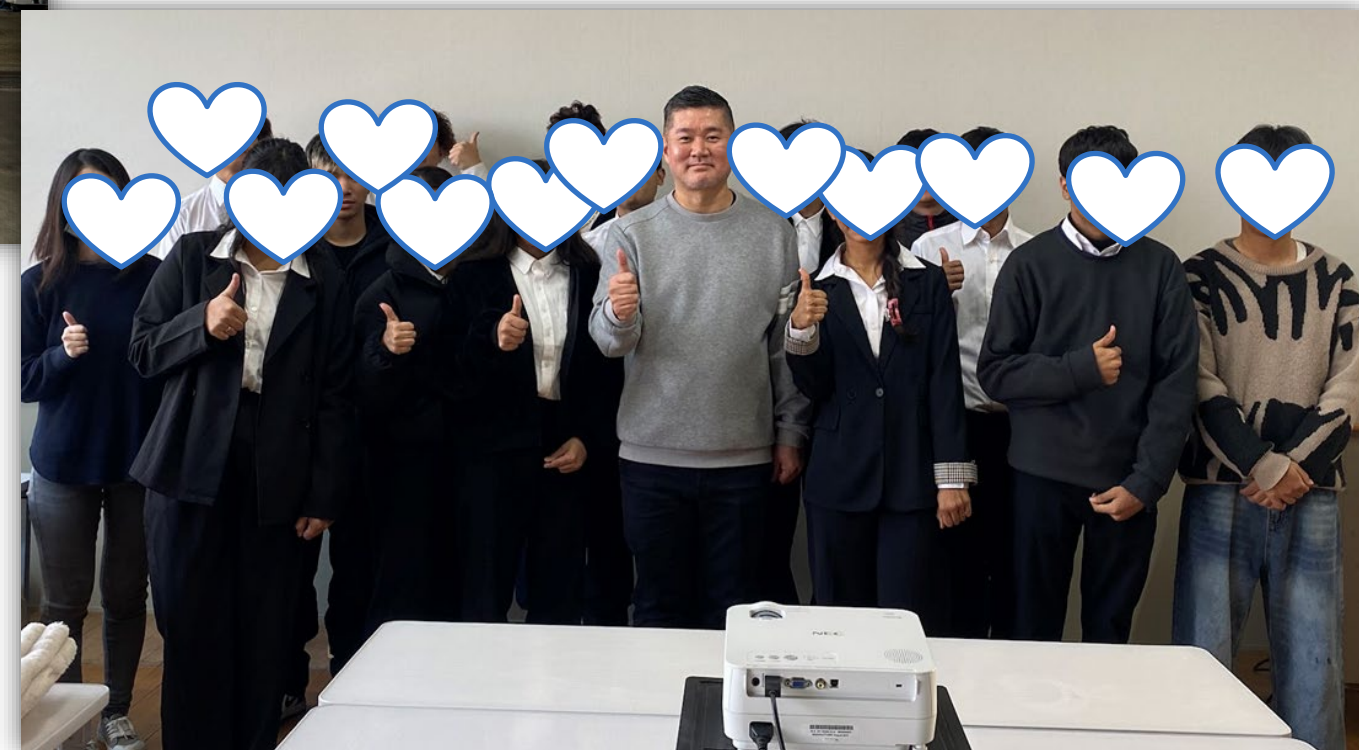
- 生徒一人ひとりのオーダーメイドの進路支援



2. 大阪わかば高校のキャリア支援 就職支援について

- ①入学時より在留資格等を把握し、計画的に
- ②先行学習で、自信をつける（2年次に授業で5事業所訪問）
- ③経験の中で日本語を学ぶ機会を
「インターンシップ」の実施
- ④通訳の方に入っていて、保護者懇談を
- ⑤「在留資格変更許可申請」は速やかに
「家族滞在」→「定住」または「特定活動」へ

2. 大阪わかば高校のキャリア支援 学校設定科目「インターンシップ」





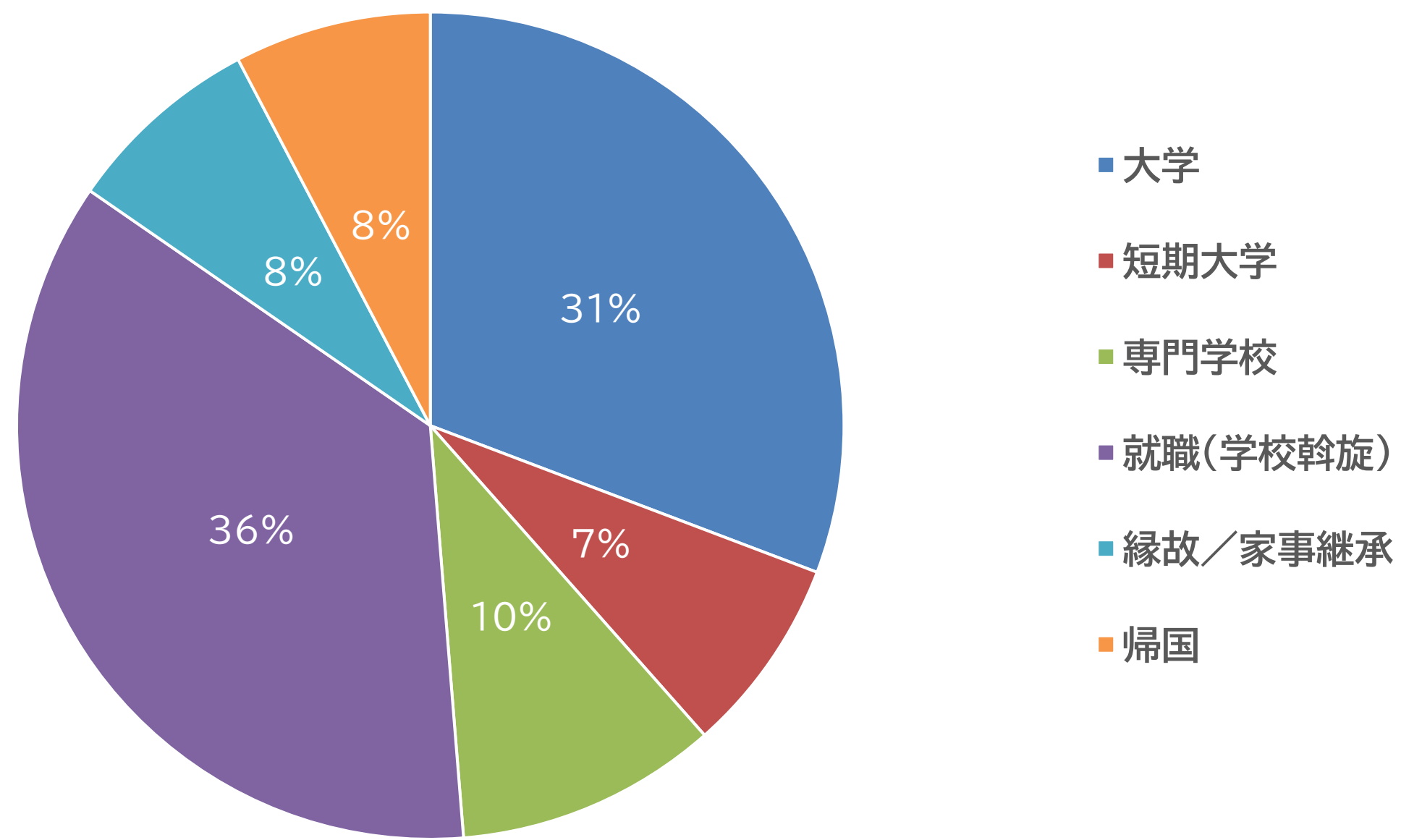
2. 大阪わかば高校のキャリア支援 進学支援について



- ①入学時より在留資格等を把握等をして計画的に
- ②オープンキャンパスに参加し、正しい情報を
- ③強みを活かした入試方法で
（多言語生入試、渡日生入試等の活用）
- ④資格取得を（JLPT、英検、TOEIC等）をめざす
- ⑤通訳の方に入っていていただいて、保護者懇談を



2. 大阪わかば高校のキャリア支援 外国ルーツ生徒の進路状況

2025年度進路希望卒業予定生(38名)進路希望



- 
- 
1. 大阪府における取組み
 2. 大阪わかば高校のキャリア支援
 - 3. 大阪府における現状と課題**
 4. 大阪わかば高校の今後の展望



3. 大阪府における現状と課題

1. 中途退学率	全国		大阪府立	
	H29 2017	R4 2022	H29 2017	R4 2022
日本語指導が必要な高校生等	9.6%	8.5%	6.2%	4.3%
全高校生	1.3%	1.1%	2.0%	1.8%

2. 進学率				
日本語指導が必要な高校生等	42.2%	46.6%	66.7%	76.6%
全高校生	71.1%	75.0%	76.1%	81.4%

3. 就職者における非正規雇用率				
日本語指導が必要な高校生等	40.0%	38.6%	43.8%	35.7%
全高校生	4.3%	3.1%	12.0%	8.9%

4. 進学も就職もしていない者の率				
日本語指導が必要な高校生等	18.2%	11.8%	9.7%	3.7%
全高校生	6.7%	6.5%	6.5%	5.0%


出典：文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」



3. 大阪府における現状と課題

課題

- 急増する日本語指導が必要な生徒への対応
- 日本語指導が必要な生徒をこれまで以上に受け入れることのできる新たな仕組み等が必要
- 持続可能な制度の構築
- センター的な機能を果たす拠点校の整備

- 
1. 大阪府における取組み
 2. 大阪わかば高校のキャリア支援
 3. 大阪府における現状と課題
 4. 大阪わかば高校の今後の展望



4. 大阪わかば高校の今後の展望

02-2 学校改革 — 日本語指導が必要な生徒への支援の充実 —

- 自らのルーツに誇りを持ちながら、その人らしく社会で安心して生きることができる教育環境を整備
- 「拠点校」を整備し、日本語指導が必要な生徒を受け入れている他の学校への支援を充実

具体的な取組

日本語指導が必要な生徒を支援するための「拠点校」の整備(大阪わかば高校:令和10年度から)

- ・ 大阪わかば高校を「拠点校」として、府立高校で日本語指導が必要な生徒を受け入れ
- ・ **日本語指導が必要な生徒を受け入れた高校への支援等の実施**
- ・ **体系的な日本語指導方法の確立**や大学と連携した教員育成や教材開発、教員研修の実施



夢は同じ 日本でがんばりたい

高校生 ザイシ スラジュ
(大阪府 18)

約4年前にネパールから来日し、日本の高校に通っています。卒業後は運送会社で働きます。荷物だけでなく、人の大切な気持ちを届ける仕事。日本でまじめに頑張れば人の心を動かせると思っています。

来日前、「日本では、外国人にはむずかしいこと、できないことが多い」とよく聞きました。でも、どの国でも頑張る人にはチャンスがあり、努力すれば、すてきな未来をつ

くれるはず。まじめに優しい気持ちで働けば、国籍が違っても通じあえます。一番うれしいのは「ありがとう」と言われること。その言葉で、どんなに大変な日でも頑張れます。私は外国人ですが日本を大切に思っています。日本の人たちも外国人がもっとあたたかいことを信じてほしい。国が違っても夢は同じです。私の夢は人の心をあたためるような仕事をする事。そして周りの人が「外国人もすごいね」と思ってくれたらうれしいです。

高校生 ブオン ヴァン キエン
(大阪府 20)

私は7月までコンビニでアルバイトをしていました。私と同じベトナム人やネパール人がいました。言葉の壁があり大変でしたが、一緒に働くうちに助け合うようになりました。同僚が日本語で困っている時は私が手伝い、私が作業で戸惑っている時は彼らが助けてくれました。

日本人の店長は「国は違っても、気持ちと同じだね」と言ってくれ、温かい気持ちになりました。最近、日本では外国人労働者の話題がよく取り上げられますが、私には「助け合う仲間」です。私は来春、日本で就職します。働く場所が変わっても、お互いを尊重し、笑顔で働ける職場をつくっていききたいです。(ベトナム語で書いた文章を投稿者自ら機械翻訳を活用し日本語にしました)

※記事の二次利用について、朝日新聞社から承諾済み

教科	国語	(学)自己実現のための日本語				(学)地域連携
プレ	日本の学校・授業に慣れる					
科目名	*プレ日本語					
1年次	日本の高校生活・授業を楽しむ					
科目名	現代の国語、 言語文化		*日本語リテラシー	*日本語 コミュニケーション	母語継承語A,B	
単位数	2、2		2	2	2	
内容	市民性教育をふまえたプロジェクト型授業		段階的読書プログラム	スピーチ、多言語絵本の読み聞かせ		
2,3年次	学校生活の主人公になる・地域と連携する					
科目名	論理国語	*時事日本語	*日本文化事情	*日本語実践	母語継承語C,D	インターンシップ
単位数	4	2	2	2	2	2
内容	市民性教育をふまえたプロジェクト型授業	日本語でニュースや時事問題を読み解く	日本の文化や言語について比較しながら考える (文学作品含む)	母語と日本語を活かして社会に貢献する (生野区・地域との連携)		地域の企業や施設を訪問し、日本で働くために必要な日本語やマナーを学ぶ
最終年次	進路を実現する					
科目名			日本語キャリア演習	日本語コミュニケーション 演習	母語継承語E,F	
単位数			2	2	2	
内容			就職や進学に必要なキャリアについて学ぶ	社会人として必要な日本語力・コミュニケーション力を養う		

参考

多言語生徒ヒアリングシート										記入者		()		年		月		日		記入												受験番号													
国籍		外国籍		()		籍		/		日本国籍				年		月		日		緊急連絡先 ＜携帯電話等＞		保護者等 家族 支援者		-		-		<		>															
名前		『住民票』に記載されている名前(フルネーム)										学校で使う名前										日本語の習得状況について		聞 話		レベルの参考基準										メールアドレス		<		>					
		フリガナ										フリガナ																																	
		(住民票 ・ 在留カード)										【呼ばれたい名前】 ()																																	
生年月日				年				月				日		歳		家TEL		-		-		<		>																					
住所		〒				-																																							
家族構成 (生徒本人を除く)		続柄		名 前										国 籍		生年月日		職 業		日本語能力		同居等		日本語の習得状況について		読 書		レベルの参考基準										その他 日本語能力に関して							
				フリガナ																同 別																									
																				()																									
				フリガナ																同 別																									
																				()																									
				フリガナ																同 別																									
																				()																									
		フリガナ																		同 別																									
																				()																									
		フリガナ																		同 別																									
																				()																									
渡日帰国に関する状況・理由		出身地(故郷)		国【				】		地域(省、郡、島、市)【				】		※日本生まれ→()都/道/府/県		母語・継承語		使用しやすい言語										①		語		②		語		③		語	
		在留資格(VISA)		日本国籍 ・ 永住 ・ 定住 (年) ・ 家族滞在 (年) ・ その他 ()																																									
		本人の渡日・帰国理由		中国帰国()世、日系()世、保護者国際結婚、保護者就労による呼び寄せ、難民、その他()																																									
		<保護者および本人が日本に来た経緯、日本と母国との往来など現在までの詳細を記入>																																											
通学履歴		母国／日本		小学		国・地域				年		月		小学校 入学		○中学校で入っていたクラブ										○健康保険証の有無(あり ・ なし ・ 取得予定(月頃))																			
										年		月		小学校 編入																															
										年		月		小学校 卒業																															
										年		月		中学 入学																															
										年		月		中学 編入		○同じ中学からの進学者または本校にいる友人・知人																													
										年		月		中学校 卒業																															
				高				年		月		高校 入学												○宗教・健康・安全・精神面での要望等 ○中学校時代悩み、困っていたこと等																					
																				(その他 * わかば高校TELを登録してもら う 代表06-6757-9171)																									